

# 映画が問う

「放射線を浴びたX年後」は数々の賞を得、「知らず、学ばず、忘れたふりをしてはいけない。」ことを1954年3月1日のビキニ水爆実験を通して問いかけた。その続編として現在「X年後2」が全国で順次公開中である。また、弁護士が監督製作した「日本と原発」は、福島第一原発事故直後に起こった数々の知られざる悲劇を伝えるところから始まる。これらの映画は、「被曝」を描き、原子力のあり方を問うている。

一方で、停止していた原発の再稼働が進んでいる。大飯原発（福井）・川内原発（鹿児島）に続き、1月29日には高浜原発3号機（福井）、そして、伊方原発（愛媛）も春に再稼働が予定されている。

そして現在経済産業省が、再稼働を促すために原発停止中の自治体に「電源立地地域対策交付金」の引き下げを検討している。福島の教訓とは何だったのか。あの日から4年と11ヶ月を迎え、改めて問いかけてみたい。

## わが身に置き換えてみたり

福島第一原発事故後、帰還困難に指定されたり、避難命令を下された地域は原発から半径30キロ圏内に及びました。放射能が飛散したとされた地域は更に広範囲に及びました。そして、今なお福島から避難している多くの人々が存在します。

京都府は福井県内の原発事故に備え、防災会議で避難について決めています。それは関西電力高浜原発（福井県高浜町）から半径30キロ圏内に住む府民12万7500人の一次避難先です。放射性物質の拡散に応じて2パターンの避難先を示しています。＜下図は京都新聞掲載より＞

高浜原発30\*。圏内の住民の避難先

西方面	市町名	南方面
関西広域連合と調整中 8万9000人	舞鶴市 8万9000人	京都市 6万5000人
福知山市 計1万6000人	綾部市 9400人	宇治市 1万4000人
京丹後市 計1万1000人	宮津市 2万300人	城陽市 6000人
与謝野町 計4300人	伊根町 1600人	向日市 4000人
市内30*。圏外 300人	福知山市 300人	亀岡市 6400人
市内30*。圏外 3700人	南丹市 3700人	福知山市 3000人
町内30*。圏外 2900人	京丹波町 2900人	長岡京市 5100人
		八幡市 5100人
		京田辺市 5000人
		木津川市 5100人
		精華町 1600人
		市内30*。圏外 300人
		市内30*。圏外 3700人
		町内30*。圏外 2900人

(30\*。圏内人口12万7500人)

# お礼状が届いています！

気仙沼市 五十五番タクシー 小野寺修一・浩美 さま

皆様にはお健やかに良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年末には、贈り物を頂戴し誠に有難うございました。震災から五年。月日の経つのは早いものですね。月日だけが経過しているような気がしますが今年も、頑張っていきます。皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。本年もよろしくお願い申し上げます。

気仙沼市 波板 大峠山住宅 小野寺やえ子 さま

新年あけましておめでとうでございます。昨年の暮には、ご多忙中にもかかわらずマフラーなどの数々のお品をいただきまして誠にありがとうございます。後日に仮設一同の集会時にビンゴゲーム等で皆に配布する予定でおります。

本年は集団移転地の引渡しや災害公営住宅の入居開始が予定されており、当方の仮設も九月頃には全員引越しが予定されております。なにかと忙しい一年になると思いますが、前を向いて頑張りたいと思っております。

皆様も身体に気をつけられて学業にお励み下さい。これからの幸せな人生を送られますよう遠くからですがお祈りいたしております。

気仙沼市 鹿折中学上 大峠山住宅 伊藤 宏美 さま

こんにちは。今回もまた暖かいプレゼントをたくさんいただきまして本当にありがとうございます。クリスマスの時にお茶会を開いて皆さんと分けあいました。残念ながら私は参加できませんでしたが、母はみんなとっても喜んでいたよと言っていました。

マフラーは皆様の手作りだったんでしょうか？というか手作りだったんですね？

いろいろ忙しいのにあんなにたくさんプレゼントされて皆さんホントに感激していたみたいです。（参加できなかったのも、すみません。）

暖冬と言われていますが、やはり吹く風は冷たく、マフラーはとてもありがたいとおっしゃっていました。京都も冬は寒さが厳しいと伺っています。どうぞ体調に気をつけてご自愛なさってください。気仙沼を、私たちを忘れずにいて下さり、ありがとうございます。

**来月は震災から5年です。多くの方々の11円基金協力をお願いします。**